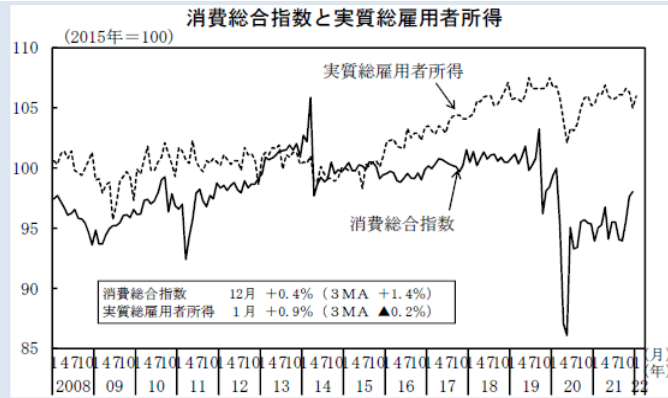


月例経済報告（2022年3月）

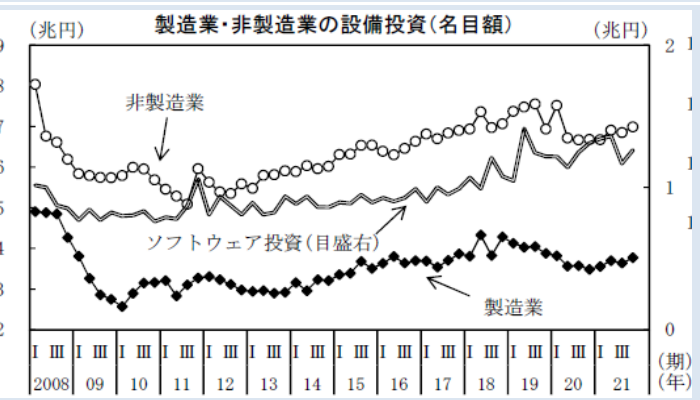
● 月例経済報告（3/25）

基調判断	(3月) 景気は、持ち直しの動きが続いているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さがみられる。 感染対策に万全を期し、経済社会活動が正常化に向かう中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、ウクライナ情勢等による不透明感がみられる中で、原材料価格の上昇や金融資本市場の変動、供給面での制約等による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、感染症による影響を注視する必要がある。
	(2月) 景気は、持ち直しの動きが続いているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さがみられる。 感染対策に万全を期し、経済社会活動を継続していく中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、感染拡大による影響や供給面での制約、原材料価格の動向による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

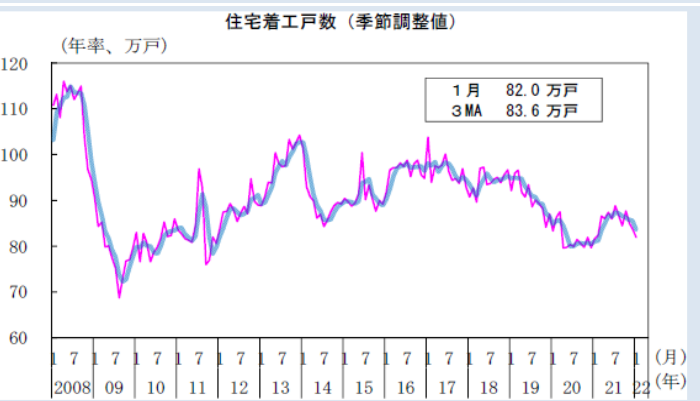
個人消費	(3月) このところ持ち直しに足踏みがみられる。
	(2月) このところ持ち直しに足踏みがみられる。



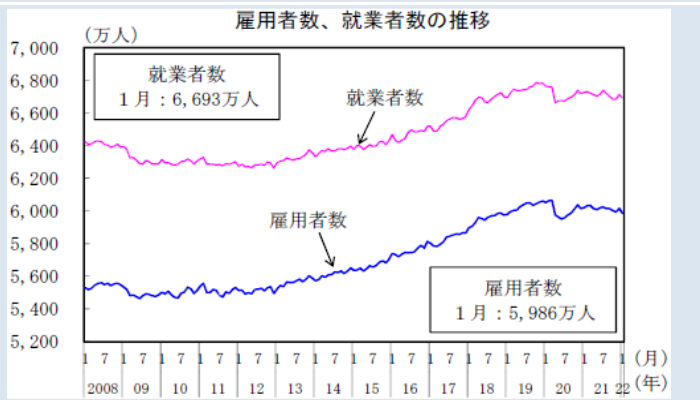
設備投資	(3月) 持ち直しの動きがみられる。
	(2月) 持ち直しの動きがみられる。



住宅建設	(3月) このところ弱含んでいる。
	(2月) このところ弱含んでいる。



雇用情勢	(3月) 感染症の影響が残る中で、引き続き弱い動きとなっているものの、求人等に持ち直しの動きもみられる。
	(2月) 感染症の影響が残る中で、引き続き弱い動きとなっているものの、求人等に持ち直しの動きもみられる。



<p>生産</p>	<p>(3月) 持ち直しの動きがみられる。</p>																									
	<p>(2月) 持ち直しの動きがみられる。</p>																									
<p>輸出</p>	<p>(3月) おおむね横ばいとなっている。</p>	<table border="1" data-bbox="1230 629 1337 869"> <tr> <td>全体</td> <td>2月</td> <td>+0.8%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA</td> <td>▲0.5%</td> </tr> <tr> <td>アジア</td> <td>2月</td> <td>+2.3%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA</td> <td>+1.2%</td> </tr> <tr> <td>アメリカ</td> <td>2月</td> <td>+2.3%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA</td> <td>▲0.0%</td> </tr> <tr> <td>EU</td> <td>2月</td> <td>▲9.4%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA</td> <td>▲2.0%</td> </tr> </table>	全体	2月	+0.8%		3MA	▲0.5%	アジア	2月	+2.3%		3MA	+1.2%	アメリカ	2月	+2.3%		3MA	▲0.0%	EU	2月	▲9.4%		3MA	▲2.0%
全体	2月	+0.8%																								
	3MA	▲0.5%																								
アジア	2月	+2.3%																								
	3MA	+1.2%																								
アメリカ	2月	+2.3%																								
	3MA	▲0.0%																								
EU	2月	▲9.4%																								
	3MA	▲2.0%																								
	<p>(2月) おおむね横ばいとなっている。</p>																									
<p>国内企業物価</p>	<p>(3月) このところ上昇している。</p>																									
	<p>(2月) このところ緩やかに上昇している。</p>																									
<p>消費者物価</p>	<p>(3月) このところ緩やかに上昇している。</p>																									
	<p>(2月) 底堅さがみられる。</p>																									
<p>海外経済</p>	<p>(3月) 世界の景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和される中で、持ち直している。先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、ウクライナ情勢等による不透明感がみられる中で、原材料価格の上昇や金融資本市場の変動、供給面での制約等による下振れリスクに留意する必要がある。また、感染の動向等を注視する必要がある。</p>																									
	<p>(2月) 世界の景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和される中で、持ち直している。先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、感染の動向や供給面での制約、原材料価格の動向による下振れリスクに留意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>																									

月例経済報告：内閣府